

採血を受けられる方へ

採血を「安全に」「間違いなく」実施するため、以下のことをお願いしております。ご協力をお願いします。

①ご本人様確認

「採血取り間違い防止」のため、姓名や、匿名検査の際は受付番号や検査IDを確認します。

②お体の状況確認

下記に該当する方はスタッフにお申し出ください。

- ◎ 採血時に、気分が悪くなったことがある
- ◎ 消毒薬や手袋（ラテックスなど）のアレルギーがある
- ◎ 血液透析を現在行っている
- ◎ 乳房切除手術を受けたことがある
- ◎ その他採血に関する希望、不安な点がある



採血時の疑問などご不明な点は、遠慮なくスタッフにお聞きください。



採血前に必ずお読みください

採血では、ごくまれに、痛みがしばらく続いたり、しびれや出血がおきることがあります。安全のために、採血前後には以下の点にご理解・ご注意をお願いいたします。

なお、採血が困難な場合は、検査をお断りする場合があります。ご了承ください。

<採血の器具>

- ・採血針等の器具はお一人ずつの使い捨てになっております。器具から HIV や肝炎等が感染することはありません。

<採血の場所>

- ・採血は、通常肘（内側）の血管から行いますが、肘の血管が細いなど採血が難しい場合には、前腕や手の甲から採血をすることがあります。

<採血量>

- ・採血する血液の量は、できる限り少量にとどめるよう心がけます。

<採血回数>

- ・血管の状態などにより 1 回で十分な量が採血できない時には、再度採血を行う場合があります。

<採血前の確認>

- ・消毒用アルコールにかぶれたことがないか。
- ・採血中・採血直後に気分が悪くなったり、冷や汗が出たり、気を失ったことがないか。
- ・血液を固まりにくくするお薬（ワーファリン、アスピリンなど）を内服していないか。

<採血中の注意> ※以下のような症状が見られた場合は、お申し出ください。

- ・手の指先に痛みやしびれ感などが出たとき。
- ・我慢できないような痛みを感じたりしたとき。（針を刺した場所に一瞬感じる「チクッ」とした痛みは、通常心配はありません）。
- ・気分が悪くなったり、冷や汗が出たりするとき。

<採血後の注意>

- ・採血後は、皮下の内出血を予防するために、針を刺した場所をご自身で少なくとも 5 分間しっかりと押さえた後に止血をご確認ください。血液を固まりにくくするお薬を内服されている方は、さらに長めにしっかりと押さえてください。
- ・階段による移動は慎重に行ってください。また、採血直後の飲酒、喫煙、入浴は避けてください。
- ・保健福祉センターを離れた後に、気分が悪くなったりめまいを感じたら、すぐに座るか、横になってください。



何かご心配なときは、スタッフにお尋ねください。